

「差押えの法的根拠～国税徴収法を知り、たたかひのヒントを学ぶ」

1 国保差押問題の難しさ

憲法・法律をきちんと守っていれば差押えは有効

世論の共感を得ることの難しさ

「課税額は通常であれば納付可能な額になっている」。

「誠実に納税している人との不公平」

2 当面の対応策

徴税職員に憲法・法律を守らせる。

究極的には国保制度の抜本的改正

3 徴税職員に憲法・法律を守らせるために

行政のやることを監視するという姿勢

法律には法律で対抗する。条文や制度趣旨に反した運用になっていないか？

4 納税緩和の制度はなぜあるのか？(制度趣旨)

租税法律(条例)主義

憲法25条の自由権的側面に由来する滞納者保護の思想

差押禁止の制度や納税緩和の制度

立ち直る見込みがあるなら立ち直りの機会を与えて将来的に払ってもらう

5 法律で乗り越えられないところは運動の力で

大阪市の学資保険差押え回避

6 新しい社会保障制度に憲法25条の思想を